

全国就労移行支援事業所連絡協議会主催

第四回 就労移行支援タウンミーティング アンケート集計報告

<一日目、就労支援員向け研修>

開催日：平成 26（2014）年 6 月 27 日（金）

場所：札幌市役所本庁舎 12 階会議室

参加者の概要

参加者数：130 名

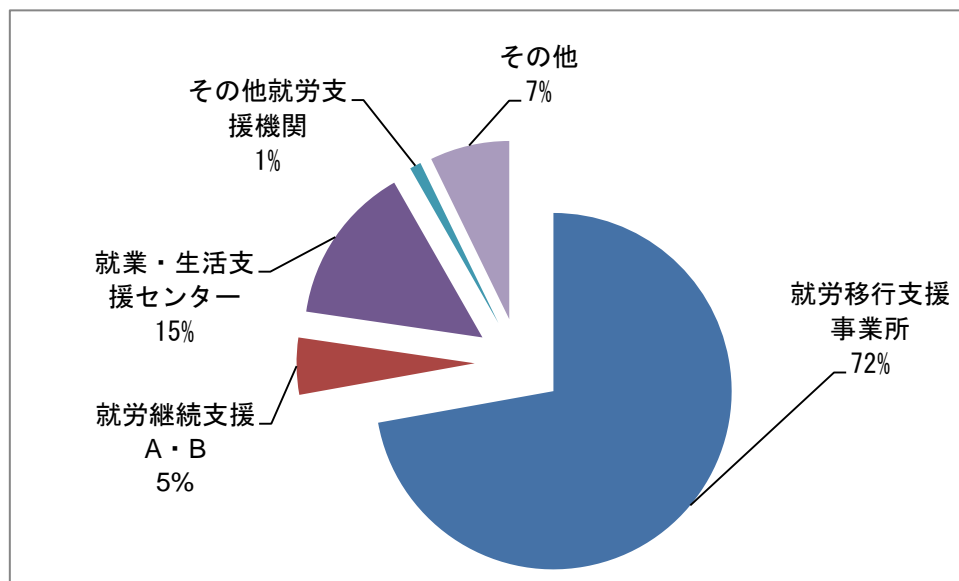
内訳

一般参加者：108 名

講師・発表者・実行委員：22 名

アンケート回答数：97

アンケート回答率：89.3%（97/108）



自由筆記部分に寄せられた参加者の声

<研修の内容について>

勉強になりました。ありがとうございました。

実際にまだ経験がないため、頭でのイメージは解かりますが、とつても奥の深い仕事だと思いました。

若尾先生のお話に感銘を受けました。事例報告も素晴らしいと思いますが、私は札幌の今の方が好きです。（感想）

<p>札幌市の障害者を雇用している企業と就労移行支援事業所が合同で参加できるような研修があったら参加したいです。</p>
<p>このような会合を今後も定期的を開いていただき、我々就労移行支援事業者のレベルアップのために勉強する機会を設けていただきたいと思います。</p>
<p>課題に対する好事例やツール等の内容を共有していただける機会があると今後の支援に生かせるのではと思います。とても勉強になりました。</p>
<p>講師の方の熱いお話を聞いて障害のある方が一人でも多く働くことができる世の中になってほしいと思いました。</p>
<p>私が所属するのは北海道の小さな街で全体的に遅れているんだな—と感じました。受給者証の申請に市役所に行くと移行支援事業所でも「何の作業してますか？」と聞かれます。常々「移行とB型はちがうんだ！」と思っていますが、行政の方もどんどん興味を持って学んでほしいと思います。何より今回は正しい答えがあるとうれしく思いました。今後も活動頑張ってください。応援します。</p>
<p>札幌市以外の取り組みについて貴重なお話を聞くことができ勉強になりました。</p>
<p>職場開拓をして精神や知的の人を雇用してってもらっているとおっしゃっていましたが、どのような会社が障がいの方を受け入れてくれることが多いのですか？</p>
<p>定着支援、離職後再就職支援、とても参考になりました。</p>
<p>移行支援を行う際には地域への支援も同時に必要、重要となることが今回一番印象に残りました。「就労支援＝地域にバトンを渡す役割」を念頭に置いて今後就労支援をしていきたいと思います。貴重なお話ありがとうございました。</p>
<p>利用者の方がどうかかわりをして変化していったのか、どういう視点を持っていたのかの部分のお話を伺いたいです。</p>
<p>まだ就労支援員としてのキャリアが浅いので非常に勉強になりました。ありがとうございます。</p>
<p>札幌以外の地域の状況を聞くことができとても勉強になりました。定着支援の枠組みについて国へ提言していくべき内容をぜひこの協議会で実践いただければと思います。研修に参加すると支援者自身のモチベーションアップにつながります。ありがとうございました。</p>
<p>就労移行支援事業所の活動についてさまざまな状況を知る機会をいただきありがとうございました。</p>
<p>日常接している利用者さまについて、もちろん入所前に就労支援について説明してはいるんですが、利用者様本人の意識が少し足りないと感じています。私がいる事業所でも就労に向けて意識の話をもちろんしています。たとえば、支援学校、養護学校でも何をしに行くのかなど説明をもっとしてもらい、就労支援事業所との連携が必要と思っています。</p>

<アセスメント・定着支援・制度上の課題>

今回の研修で改めてアセスメントの重要性を感じた。また定着支援に関する制度としての課題も感じられた。大変勉強になる研修をありがとうございました。

福祉サービス事業所による定着支援への加算が定着率アップに必ずつながると思います。

定着の重要度が理解でき、そこに重点を置いて制度設計を期待したい。

就労移行支援事業所の実績や定着支援の取り組みが正しく評価される報酬改定が必要だと感じました。

短い時間でしたが、大変勉強になりました。忘れていた就労移行支援事業所の立ち位置を改めて考えることができました。若尾さんの「地域を作っていく」というビジョンに共感し、今いる場所で精いっぱい頑張らなくてはと思いました。

定着支援に関しては、6か月ではなくもう少し長期にかかわれるような仕組みが必要だと感じました。通過施設である一方で長期的にかかわることが求められるため、他機関を巻き込みながらそれぞれの役割を果たしていくことが必要なのではないでしょうか……。ありがとうございました。

国保連への請求で移行支援終了後6か月間は算定に入れることができるが、この6か月間をどのように使うかまた6か月を過ぎた後そのようなかわりを対象者に対して行っていくか、法で厳密に提示されていない部分にこそ支援の在り方が色濃く出のらうと感じている。つまり移行利用前の相談で「正しい移行の見つけ方」を状提供していく必要がある。

そうなると地域の移行の中の一事業所として活動しながら、ナカポツに働きかけるのは難しい。各地域に一か所ずつ設置されて移行の活動の質を確保していただきたいと思う。

貴重な内容をいただきありがとうございました。アセスメントの重要性の再確認となりました。実際アセスメントするツールについて悩むことがたびたびありました。多方向、方面の視点、場面での見方についてはまだまだ経験の不足のところもありますがこのような視点についてやツールの紹介、方法を今後学ぶ機会がほしいと思いました。また企業側と進めてきたこと(雇用や現場のやり取り、職場開拓の経験)を聞きたいと感じました。

福祉サービス(就労系)を指定する行政の責任の強化が必要ではないでしょうか？

ハローワーク窓口対応のスキル不足は大きな問題ではないだろうか？

<二日目、タウンミーティング>

開催日：平成 26（2014）年 6 月 28 日（土）

場所：ポリテクセンター北海道

参加者の概要

参加者数：132 名

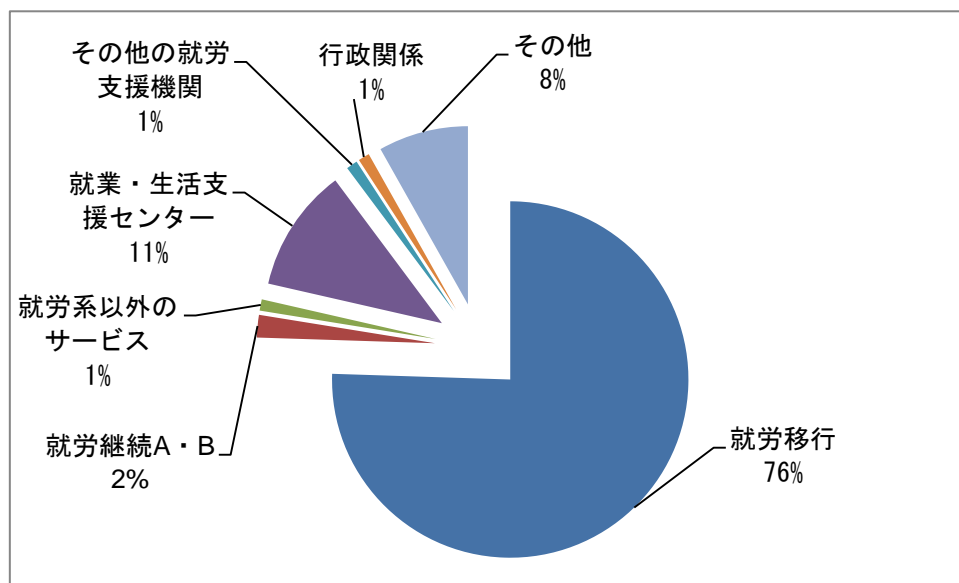
内訳

一般参加者：109 名

講師・発表者・実行委員：23 名

アンケート回答数：101

アンケート回答率：92.7%（101/109）



自由筆記部分に寄せられた参加者の声

<全般的な感想>

まだまだ全道的に就労移行支援についての認識が共通ではないかと思われます。今回はとても参考になりました。北海道も広くこういった機会に参加させていただけると嬉しく思います。ありがとうございました。おつかれさまでした。

2日間参加させていただきましてありがとうございました。今後の活動に大変参考になりました。

お疲れ様でした。もう少し時間がほしかったです。

大変勉強になりました。

非常に参考になりました。

1日目の講演もぜひ聞きたかった。全国の取り組みも聞いてみたかった。

最新の制度と現場の取り組みについて。定期的にこういった研修会で得られることはよいと思いますのでこれからもよろしくお願ひします。

行政説明・報告は大変参考になりました。地域の実践報告も素晴らしい報告でした。特にネクステージのユニークな取り組みが良かったです。利用者が安心して利用してもらえる就労移行づくりを考えていきたいと思いました。意見交換も参考になりました。

厚労省のお二人の説明がとても分かりやすく整理されていた。とても勉強になったが、時間が短くて残念だった。

実践報告は、事例を通しての支援内容だったため、具体的でよかった。発表内容(パワーポイントも含め)整理されていてわかりやすかった。

厚労省の方の話「地域の就労支援のあり方研究会」の解説の中で今後の就労支援事業所の流れ、予想を立てようと思ひ聞いていたが、JCやナカポツの内容が多く、就労移行の内容が少なかったのがとても残念だった。

実践報告では3事業所の取り組みが発表されたが資料に書かれていることの説明が多く「支援のキモ」というか「この型の支援ではこれがなければうまくいかなかった！」というポイントなどを紹介していただけると聞いている方の心を動かせたのではないかと思う。

意見交換会は札幌の先端をいっている事業所が集まっているのだから、司会から聞いて終わりではなく、一つの論点を深めていけると学べることが多いのではないかと感じた。

午後の部についてももう少し時間を取って話を聞きたかった。資料が良くできていたがすべての説明が聞けなくて残念だった。実践報告については、道外の方がいらしていたので、他地域の話も聞けるとよかった。意見交換会は他の福祉サービス事業所や企業の方も交えた話もあるとよかった。

講演時間が短く急いで話されていた人がいた。もっと詳しく話を聞きたかったので時間が短くて残念だった。(体系的なことや考え方、方向性など)

行政説明がかけあしでの説明だったのがとても残念でした。一人一時間くらいで聞きたかったです。

今回初めて参加させていただきました。日頃行政のお話を聞く機会があまりないので今日はいろいろ勉強させていただけてよかったと思います。意見交換会もとても参考になりました。ありがとうございました。今後の支援に生かしていきたいと思ひます。

行政説明が非常にわかりやすく、今後の仕事をする上で参考になりました。時間の関係で1つ1つのお話を聞くことができず残念でした。

制度の仕組みやポイントについて改めて自分の中で整理することができました。実践報告では、他事業所の近況や事例、支援方法、利用者との関わり方等を聞くことができ、大変参考になりました。

移行支援機関の各事業所の実情をお聞きすることができて、良かったです。地域によって利用者確保や就職求人の量に時間はあると思うが、札幌郊外でのお話も聞いてみたかったなと思ひます。江別、余市、都市部以外の現状など。

実践報告が似通った事例だったため、少し残念でした。昨日に引き続き定着支援の重要性や課題についてPointにされていたと思ひます。行政説明、報告に関してはなかなか読みとく時間がないので大変良かったです。

<p>事例検討は事業所の説明よりも当事者のことをもっと聞きたかったです。もっとポイントを絞って意見交換会をしてほしかった。</p>
<p>実践報告等で各事業所の取り組みが大きく異なり、正攻法はないのだとわかりました。失敗の事例等を聞ければよいなと感じました。</p>
<p>実践報告でいろいろな支援方法、考え方がとても参考になりました。</p>
<p>実践報告を聞いてそれぞれの事業所のカラーや大事にしていることが違って自分が日々感じていることだけでは小さな枠だと思いました。研修会のような場だけではなく、いろいろな事業所の取り組みを知ることのできる機会があると視野が広がるのではないかと感じました。</p>
<p>各事業所の色が出ていて実践報告はそれぞれ面白かったです。</p>
<p>地域の実践報告において他事業所での利用者とのかかわり、支援内容、就労に至るまでのプロセス等を知ることができ大変参考になりました。今回のタウンミーティングに参加させていただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。</p>
<p>実践報告ではそれぞれ違う特徴ある取り組みの報告で、それも面白かったです。何より報告者のお三方がとても熱い思いを持って実践されている様子が伝わり、いい刺激をいただきました。</p>
<p>意見交換会は大変参考になりました。ぱすとらるさん、こねくとさんの地域ぐるみの取り組みに感銘を受けました。</p>
<p>実践報告は2事例程度にして、意見交換をもう少し深く長く聞きたかった。</p>
<p>意見交換会ではもう少し踏み込んだ内容も聞いてみたかったです。</p>
<p>もう少し参加者の意見交換に参加できる仕組みがあるといいかと感じます。数字の推移等の資料は大変参考になりました。</p>
<p>特に意見交換会が特に参考になりました。最後はもう少し時間を伸ばして話ができればと思いました。</p>

<制度について>

<p>移行の一般就労への移行率について50%以上が13.5% 0%が35.2パーセント(24年4月)という実績について驚きました。移行支援の役割、移行支援全体のこれからを考えていくべきと思いました。</p>
<p>実践報告で他事業所の様子を知れてよかった。自分の事業所も力のある方がいるので企業とマッチングがうまくいけばと思っています。地域にナカポツセンターやジョブコーチの数が少なく、広いエリアを数人でカバーしている状態なので配置人数などが増えればよいと思いました。</p> <p>最後の意見交換会で減算の話がありましたが、多機能の場合は継続 B や生活介護の人でもカウントしていただければ、その方がマッチングしたタイミングで就職する運びになっていけるとと思いました。</p>
<p>一般就労実績がない事業所への減算をきびしくということが意見交換で言われていたが、地方と都市部を一緒に考えてしまうのはどうでしょうか？安易な発言にとっても疑問を感じます。地方(過疎地)で活動しているものとして、必死に取り組んでも地域実情からの厳しさがあります。また新たな移行事業所が地方でできにくくなります。</p>

1日目の研修とはまた違い、実際に札幌市内で就労支援を行っている事業所の支援事例について、各障がい種別、それぞれ聞くことができよかった。また意見交換会では実情と報酬のアンバランスをあげられる場面もあり、共感できる部分も多かったので次回報酬改定に期待したい。

竹中さまのご説明の中で、JCの支援状況として、精神の方が増え、知的の支援人数が減っている背景について理由が何なのか興味がありました。要因を検証のうえ、次の機会等で情報公開いただけたらと思います。

1部)精神障害を持っている方の就職率が上がっているとのことですが、知的、発達障がいを持っている方の就職率が上がっていきにくいのは、どのような理由があるかと思いました。またどのように今後、支援員として行っていくのが良いのかと思いました。

2部)就職に向けてどの事業所もその事業所のカラーがあり、それぞれの思いがあって就職へと結びつくよう努力されているのを感じました。また日々の活動に追われ大事にしなければならない個々の可能性を見つけねばと思いました。

3部)就労支援をしている生の声、現状、実態、いろいろ不明瞭なところもあるようで難しさを感じました。

<定着支援について>

定着支援について、現状の支援状況からとらえるだけでなくもっと本質的な議論をすべきであると思う。平川氏の発言はとてモリアリティーのあるものだった。

定着支援に国の施策等がもっともっと目が向くといいと思います。個別給付必要。

意見交換会の際、発言者、コメンテーターは平地ではなく壇上で意見交換をしてほしかった。国へはフォローアップ体制の具体的な体制と報酬を考えてほしい。

福祉、労働という二段階というお話がありましたが、定着支援に対しお金の出し方が難しいということはよくわかりました。以前からA型事業所は一般就労の努力をしてもよいかと思っていましたので、考えられてはと感じました。まさに福祉と労働が一体化できるモデルのなるのかとも考えました。

定着支援については人員配置的にも制度的にももっと整備していただき、継続しやすい環境になればありがたいと思います。

札幌の内輪だけではない話が聞けて大変勉強になりました。定着支援についてはナカポツとして就職者を出すことを求められている中で初期相談を受けていない場合の定着部分だけを担うのは難しいように思う。進行の酒井氏のコーディネーター力、素晴らしいと思う。

今回は貴重なお話ありがとうございました。お話を聞いていてもっと就労定着にスポットを当ててほしいと思いました。ぜひ次回はその課題をメインに取り上げていただきたいと思います。本日はありがとうございました。

定着支援といえば、これまでは主に職場巡回が主だったように思いますが、今回本研修に参加させていただき、具体的な定着支援の幅が広められたように思います。早速試してみたいと思います。(事業所、実習者、就職者のチェックリストや就職者たちの様子を知らせる季刊誌など)

質問～障害受容が充分されていない発達障害の当事者対応について

現時点で私としては月に1回の面談を取り入れ、自分では気づいていない指摘の多いところ、生きづらさの再確認などで需要へ結びつけています。

定着支援について移行支援では財源もつかずにいる現状であり、企業に対しても雇用管理に関わる金銭的なサポートも十分でないと思われる中、A型事業所の支援費は一般財源(福祉の財源)の中からA型事業所への定着し支援や雇用管理のためのお金が給付されることについてどうしたものかと思います。

<その他>

非常にバランスのとれた協議会だなあと感じました。志を同じくする構成メンバーの方々が協力し合いながら盛り上げていると思います。思想やメンバーが偏ることの無いよう発展してほしいと思います。

また若尾さんのお話が聞ける機会をぜひ、いや必ず作っていただきたい。わかりやすい。冷静にアツイ。大ファンになりました！

個人加入できませんかね～。

事業所を残すための働きかけではなく、就労支援の仕組みが重要でありこのようなシステムがきちんとした形で継承されることが必要であると思いますが、その点を活動に生かしてください。